

# 専門科目

---

Z・環境都市・建築デザインコース

---

## 環境都市・建築デザインコースの DP・CP と教育課程

### ○ 教育目的

環境の保全と再生及び安全・安心で持続的発展が可能な社会を実現するため、幅広い視野と豊かな人間性をそなえ、環境都市デザイン並びに建築デザインの基礎とその応用分野に関する知識と技術を身につけ、創造力にあふれた、ものづくりに強い実践的技術者を育成する。

### ○ ディプロマ・ポリシー

産業システム工学科のディプロマ・ポリシーDP3 について、環境都市・建築デザインコースでは、その目標とする人材像を育成するため、以下に掲げる専門分野の知識と技術を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定する。

- 建設分野、水工分野、環境分野、計画分野、建築分野の 5 つの分野を柱とする環境都市・建築デザイン分野の専門知識を身につけ課題解決に応用できる能力。
- 環境都市・建築デザイン分野に関する実験・測定技術および、及び製図の知識・技術を活用できる能力。

### ○ カリキュラム・ポリシー

産業システム工学科のカリキュラム・ポリシーCP3 について、環境都市・建築デザインコースでは、専門分野の知識と技術を身につけるため、以下の方針に従ってカリキュラムを編成する。

- 環境都市・建築デザイン分野の専門知識を身につけるため建設分野、水工分野、環境分野、都市・地域計画分野、建築分野の授業を開講する。
- 環境都市・建築デザイン分野に関する実験・測定技術および製図の知識・技術を身につけるため、測量学・同実習、建設工学実験、建築製図、設計製図、建築デザイン製図などの実験実習科目を開講する。
- 環境都市・建築デザインの視点から創造性や問題解決能力を育成するため自主探究や卒業研究を開講する。

カリキュラムの構成は以下の通りである。なお、科目の学年配置と科目間のつながりはカリキュラム表及びカリキュラムの流れ図に示す。

- 1) 5年間一貫の実践的技術教育： 建設環境工学の教育全体にわたって、基礎から応用へつながりを重視し、基礎理論をもとに実践的方法で展開する技術教育
- 2) 専門導入科目：中学段階から高専教育への円滑な移行と専門分野への興味の喚起
- 3) 工学基礎科目：専門科目の学習に必要な応用数学、応用物理、プログラミング、基礎製図、建築製図、CAD等の工学基礎教育
- 4) 専門基礎科目：測量学・同実習、建設材料学、住居計画、構造力学、RC構造学、地盤工学I、水理学I、水環境工学A・B、建築計画、環境工学A・B、計画数理および、それら

に関する実験などにおいて基礎力を固める教育

- 5) 専門科目：上記の専門基礎科目を発展させた応用科目群（地盤工学Ⅱ、水理学Ⅱ、橋梁工学、河川・海岸工学、都市・地域計画、耐震耐風工学、建築環境工学、建築設備、建築法規、建築史、建設生産施工）、環境都市デザイン履修コース科目群（RC構造設計製図、橋梁工学設計製図）または建築デザイン履修コース科目群（建築デザイン製図Ⅰ、建築デザイン製図Ⅱ）で構成した専門展開教育
- 6) 一般科目：幅広い視野をもち、国際的なコミュニケーション基礎能力を有する人材、社会人としての倫理と技術者としての責任を自覚できる人材、を養成

## ○ 教育方法

次の方法で教育を実施します。

- 1) 履修学年、履修レベルに応じた懇切丁寧な学習指導（補充試験、演習指導、補習指導、オフィスアワー等の活用）
- 2) 実験実習を各学年に十分配置し、座学で学ぶ理論を実地に検証する実践的教育。あわせて発表力、レポート作成能力を育成
- 3) 環境都市デザイン履修コースと建築デザイン履修コースの2コース制の実施。土木工学を中心にした環境都市デザイン履修コースと建築学を中心とした建築デザイン履修コースに分かれてより深化した教育
- 4) 卒業研究を重視した教育。各研究室に分かれて、地域に根ざした研究や先端的な研究課題に取り組み、問題を解明し、研究遂行力を養成する教育
- 5) 校外実習や課題学修等で学生が自主的に行う学習の支援
- 6) 安全教育の徹底。測量学・同実習、建設工学実験など危険と隣り合わせで作業する際の対応などを実験・実習などの授業で教育
- 7) 情報機器を活用した教育。情報リテラシー、プログラミング、CAD、製図等により、問題解決とコンピュータの活用・コンピュータの仕組みと働き・問題のモデル化・情報技術を習得する情報処理教育



## 環境都市・建築デザインコース専門科目担当教員名簿

教員所属： (Z) 環境都市・建築デザインコース・(G) 総合科学教育科・(M) 機械・医工学コース  
(E) 電気情報工学コース・(C) マテリアル・バイオ工学コース

(所属) 職名	氏名	担当科目	連絡先	
			研究室 (ダイヤルイン)	メールアドレス @hachinohe-ct.ac.jp
(Z) 教授	南 将人	ものづくり基礎, 水理学Ⅱ, 建設工学実験Ⅱ, 産業システム工学セミナー, 河川・海岸工学, 都市・建築応用数理, 産業システム工学概論Ⅳ(E)(C), 防災・安全, 卒業研究	Z棟3階 (27-7310)	minami-z
(Z) 教授	藤原 広和	測量学・同実習Ⅰ・Ⅲ, 水理学Ⅰ, 産業システム工学セミナー, 空間デザイン, 河川・海岸工学, 卒業研究	Z棟3階 (27-7311)	fujiwara-z
(Z) 教授	丸岡 晃	構造力学Ⅰ・Ⅱ, 測量学・同実習Ⅳ, 産業システム工学セミナー, 建設工学実験Ⅲ, 卒業研究	Z棟3階 (27-7304)	maru-z
(Z) 准教授	杉田 尚男	構造力学Ⅲ, 建設工学実験Ⅱ, 橋梁工学, 橋梁工学設計製図	Z棟3階 (27-7313)	sugita-z
(Z) 准教授	清原 雄康	地盤工学Ⅰ・Ⅱ, 建設工学実験Ⅰ・Ⅱ, 産業システム工学セミナー, 卒業研究	専攻科棟3階 (27-7367)	kiyohara-z
(Z) 准教授	馬渡 龍	基礎製図, 建築製図Ⅰ・Ⅱ, 住居計画, 建築計画, 建築デザイン製図Ⅰ, 建設工学実験Ⅱ, 空間デザイン, 産業システム工学セミナー, 卒業研究	Z棟3階 (27-7309)	mawatari-z
(Z) 准教授	金 善旭	CAD, 建設材料学Ⅰ, 建築製図Ⅱ, 空間デザイン, 産業システム工学セミナー, 集中英語演習Ⅳ, 建築設備, 建設生産施工B, 卒業研究	Z棟3階 (27-7312)	kim-z
(Z) 准教授	李 善太	測量学・同実習Ⅱ, 水環境工学A・B, プログラミングⅠ, 環境工学A・B, 集中英語演習Ⅳ, 環境バイオ, 産業システム工学セミナー, 建設工学実験Ⅲ, 産業システム工学概論Ⅳ(M)(C), 卒業研究	Z棟3階 (27-7305)	leesuntae-z
(Z) 准教授	重 浩一郎	測量学・同実習Ⅱ, 建設工学実験Ⅰ, 計画数理, 都市・建築応用数理, 産業システム工学セミナー, 都市・地域計画, 原子力基盤技術概論, 卒業研究	Z棟3階 (27-7307)	shige-z
(Z) 助 教	エンケ ホルワ	基礎製図, 測量学・同実習Ⅰ, 建築製図Ⅰ, 建設工学実験Ⅱ, 空間デザイン, 産業システム工学セミナー, 建築環境工学, 建築デザイン製図Ⅰ, 建築デザイン製図Ⅱ, 建築史, プログラミングⅡ, 集中英語演習Ⅳ, 卒業研究	Z棟1階 (27-7316)	enke-z
(Z) 助 教	新任教員	建設材料学Ⅱ, 建設工学実験Ⅰ, RC構造学, RC構造設計製図, 建設工学実験Ⅱ産業システム工学セミナー, 卒業研究		
(G) 教授	馬淵 雅生	応用数学Ⅱ・Ⅲ	講義棟4階 (27-7257)	mabuchi-g
(G) 教授	中村 美道	応用物理ⅠA	講義棟4階 (27-7240)	nakamura-g
(G) 准教授	水野 俊太郎	応用物理ⅠB・Ⅱ・Ⅲ	ゼミナール棟2階 (27-7279)	mizuno-g
(G) 教授	河村 信治	卒業研究	講義棟4階 (27-7240)	kawamura-g
(M) 准教授	古川 琢磨	産業システム工学概論Ⅰ	M棟4階 (27-7267)	kogawa-m
(E) 准教授	秋田 敏宏	産業システム工学概論Ⅱ	専攻科棟3階 (27-7288)	akita-e
(C) 教授	松本 克才	産業システム工学概論Ⅲ	C棟5階 (27-7294)	kmatsu-c

非常勤講師

氏名	担当科目	連絡担当者	連絡先メールアドレス @hachinohe-ct.ac.jp
鳴海 哲雄	応用数学 I	南	minami-z
田中 健太郎	測量学・同実習 I	藤原	fujiwara-z
今野 恵喜	測量学・同実習 II	重・李	shige-z, leesuntae-z
高見 雅之	測量学・同実習 IV	丸岡	maru-z
大塚 陽	建築製図 I	馬渡	mawatari-z
杉山 貴亮	建築製図 II	馬渡	mawatari-z
菅原 隆	建設工学実験 I	新任教員	
葛西 瑞都	建築デザイン製図 II	馬渡	mawatari-z
鈴木 英宗	環境工学 A	李	leesuntae-z
森 太郎	建築環境工学	馬渡	mawatari-z
蛭名 敦	都市・地域計画	重	shige-z
中田 憲明	建築法規	エンケ	enke-z
加村 晃良	耐震耐風工学	清原	kiyohara-z
蝦名 崇宏	建設生産施工 A	金	kim-z
中村 淳一	建設生産施工 A	金	kim-z
大井 紀一	建設生産施工 A	金	kim-z
江口 尚之	建設生産施工 A	金	kim-z

必修 選択 の別	授 業 科 目	学修単 位	単位数		学年別配当					DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	備 考
			開設	履修	1年	2年	3年	4年	5年							
必修科目	応 用 数 学 I	(A)	3	1				1			◎	○				
	応 用 数 学 II	(A)		1				1			◎	○				
	応 用 数 学 III	(A)		1				1			◎	○				
	応 用 物 理 I A			1			1				◎	○				
	応 用 物 理 I B	(A)	4	1			1				◎	○				
	応 用 物 理 II	(A)		1				1			◎	○				
	応 用 物 理 III	(A)		1				1			◎	○				
	プ ロ グ ラ ミ ン グ I		2	1				1			◎					
	プ ロ グ ラ ミ ン グ II			1					1		◎					
	建 築 製 図 I		3	1		1					○		◎	○		
	建 築 製 図 II			2			2				○		◎	○		
	測 量 学 ・ 同 実 習 I		7	3	3							○	◎			
	測 量 学 ・ 同 実 習 II			2		2						○	◎			
	測 量 学 ・ 同 実 習 III			1			1						◎			
	測 量 学 ・ 同 実 習 IV			1					1				◎	○		
	C A D		1		1								◎			
	建 設 材 料 学 I	(A)	2	1		1							◎			
	建 設 材 料 学 II	(A)		1			1						◎			
	構 造 力 学 I		6	2		2							◎			
	構 造 力 学 II			2			2						◎			
	構 造 力 学 III			2				2					◎			
	R C 構 造 学		2					2					◎			
	地 盤 工 学 I		4	2			2						◎			
	地 盤 工 学 II			2				2					◎			
	水 理 学 I		4	2			2						◎			
	水 理 学 II			2				2					◎			
	水 環 境 工 学 A	(A)	2	1				1					◎			
	水 環 境 工 学 B	(A)		1				1					◎			
	住 居 計 画	(A)		1		1							◎			
	建 築 計 画	(A)		2			2						◎	◎		
	建 築 史	(A)		1					1				◎		◎	
	環 境 工 学 A		2	1						1			◎		◎	
	環 境 工 学 B	(A)		1					1				◎		◎	
	建 築 環 境 工 学	(A)		2				2					◎			
	建 築 設 備			1					1				◎			
	都 市 ・ 地 域 計 画	(A)		1					1					◎	◎	
	耐 震 耐 風 工 学	(A)		1					1				◎			
	建 築 法 規			1					1				◎			
	建 設 生 産 施 工 A		2	1					1				◎	◎		
	建 設 生 産 施 工 B			1					1				◎	◎		
	計 画 数 理			1					1					○	○	
	橋 梁 工 学			1					1					◎		
	河 川 ・ 海 岸 工 学			1					1				◎			
	建 設 工 学 実 験 I		6	2			2					○	◎	○		○
	建 設 工 学 実 験 II			3					3			○	○	○		○
建 設 工 学 実 験 III			1						1		○	○	○		○	
集 中 英 語 演 習 IV	(A)		1					1				◎	◎		○	
産 業 シ ス テ ム 工 学 概 論 I	(A)		1					1				◎				
産 業 シ ス テ ム 工 学 概 論 II	(A)	3	1					1				◎				
産 業 シ ス テ ム 工 学 概 論 III	(A)		1					1				◎				
卒 業 研 究			10						10		○	○	○	◎	◎	○
RC 構 造 設 計 製 図			1					1				◎				
橋 梁 工 学 設 計 製 図			1						1			○		◎		
建 築 デ ザ イン 製 図 I			1					1				○	○	◎		
建 築 デ ザ イン 製 図 II			1						1			○	○	◎		
合 計	両 履 修 コー ス 開 設 単 位 数		79	4	7	16	25	27								一般科目と専門科目の履修可能単位数合計は別表2に示す。
	両 履 修 コー ス 履 修 可 能 単 位 数		79	4	7	16	25	27								

- ・学修単位欄に「(A)」または「(B)」の記載があるものは学修単位、空欄は履修単位。
- ・履修単位は、30時間の授業をもって1単位とする。
- ・学修単位は、自学自習を含めた45時間の学修をもって1単位とする。  
「学修単位(A)」1単位=15時間の授業+30時間の自学自習 「学修単位(B)」1単位=22.5時間の授業+22.5時間の自学自習